

法人企業景気予測調査結果 (令和8年4～6月期調査)

【山口県の概要】

目次	ページ
調査要領	1
1. 景況判断	2
2. 企業収益	4
3. 設備投資	5
4. 雇用	6
参考資料	7

令和8年6月11日
財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についての問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 吉田
TEL: (083) 922 - 2190 (代)
HP: [https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/keiki/keikiyosokutop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/keiki/keikiyosokutop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

[調査要領]

1. 調査の目的と根拠

企業活動の現状と見通しに対する企業経営者の判断を調査し、地域経済情勢を的確に把握するとともに、財政・経済政策運営上の基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく一般統計調査として実施。

2. 調査実施時点

令和8年5月15日

3. 調査対象企業

資本金、出資金または基金(以下、「資本金」という。)1千万円以上(電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は1億円以上)の県内所在法人

4. 調査対象期間(時点)

- (1) 判断調査 …………… 令和8年4月から6月(または6月末)の現状(見込み)
令和8年7月から9月(または9月末)の見通し
令和8年10月から12月(または12月末)の見通し
- (2) 計数調査 …………… 令和7年度の実績、令和8年度の実績見込み

5. 調査対象企業数及び回答状況

区 分	業 種 別		規 模 別			合 計
	製 造 業	非 製 造 業	大 企 業	中 堅 企 業	中 小 企 業	
対象企業数	42社	76社	22社	27社	69社	118社
回答企業数	40社	62社	22社	25社	55社	102社
回答率	95.2%	81.6%	100.0%	92.6%	79.7%	86.4%

- (注)・大企業：資本金10億円以上
・中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
・中小企業：資本金1千万円以上1億円未満

6. 集計方法

判断調査項目、計数調査項目とも単純集計。

7. グラフの見方

- (1) 棒グラフは、回答企業数の構成比または金額の増減率を表す。
(2) 折れ線グラフは、BSI(ビジネス・サーベイ・インデックス)を表す。

(参考)

BSIは、前期と比較した「上昇」または「下降」等の変化方向別の回答社数の構成比から、先行きの経済動向を予測する方法。

- (例) 前期と比べて「上昇」と回答した企業の構成比…40.0%
「不変」と回答した企業の構成比…25.0%
「下降」と回答した企業の構成比…30.0%
「不明」と回答した企業の構成比…5.0%

景況判断 BSI=(「上昇」40.0%)-(「下降」30.0%)=10.0%ポイント(「上昇」超)

- (3) 点線の折れ線グラフは、前回調査時(令和8年1月から3月期)の予測を指す。

1. 景況判断

(1) 現状判断

現状(令和8年4月から6月期)の景況判断 BSI は▲6.9%ポイントと「下降」超幅が拡大している。

業種別 【製造業】 7.5%ポイントと「上昇」超に転じている
 【非製造業】 ▲16.1%ポイントと「下降」超幅が拡大している

規模別 【大企業】 9.1%ポイントと「上昇」超に転じている
 【中堅企業】 ▲20.0%ポイントと「下降」超に転じている
 【中小企業】 ▲7.3%ポイントと「下降」超幅が縮小している

(2) 先行き見通し

翌期(令和8年7月から9月期)は「下降」超幅が拡大する見通し、翌々期(令和8年10月から12月期)は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

業種別 【製造業】 翌期:「下降」超に転じる
 【非製造業】 翌期:「下降」超幅は縮小

規模別 【大企業】 翌期:「下降」超に転じる
 【中堅企業】 翌期:「下降」超幅は縮小
 【中小企業】 翌期:「下降」超幅は拡大

景況判断 BSI の推移 (原数値)

(BSI : 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分		前回(8/1-3)調査時予測		今 回 調 査			
				8/4-6		8/7-9	8/10-12
		現状判断	8/4-6見通し	現状判断	変化幅	見通し	見通し
全 産 業		▲ 5.9	2.0	▲ 6.9	▲ 1.0	▲ 9.8	▲ 2.9
業 種	製 造 業	▲ 5.1	5.1	7.5	+ 12.6	▲ 10.0	2.5
	非 製 造 業	▲ 6.3	0.0	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 9.7	▲ 6.5
規 模	大 企 業	0.0	8.7	9.1	+ 9.1	▲ 4.5	9.1
	中 堅 企 業	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 16.0	0.0
	中 小 企 業	▲ 11.5	0.0	▲ 7.3	+ 4.2	▲ 9.1	▲ 9.1

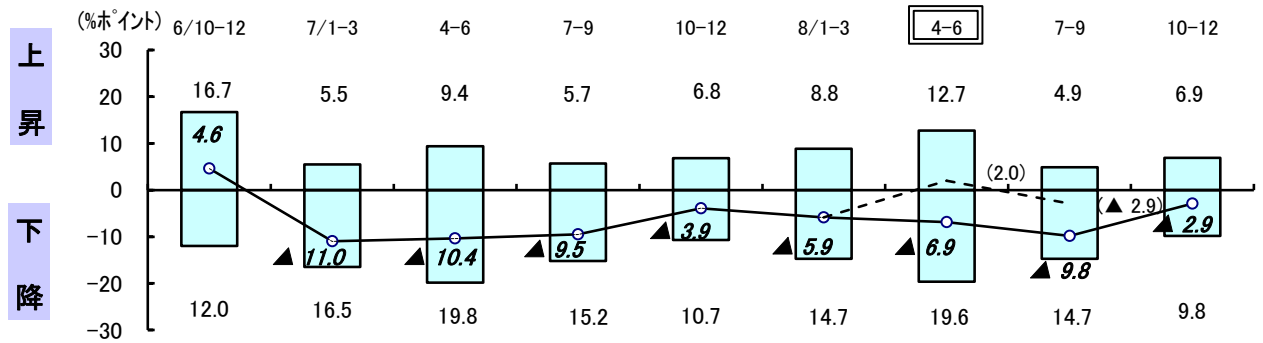
景況判断 BSI の推移 (原数値)

(BSI : 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

【全産業】

点線及び()は前回[令和 8 年 1 月から 3 月期]調査時予測

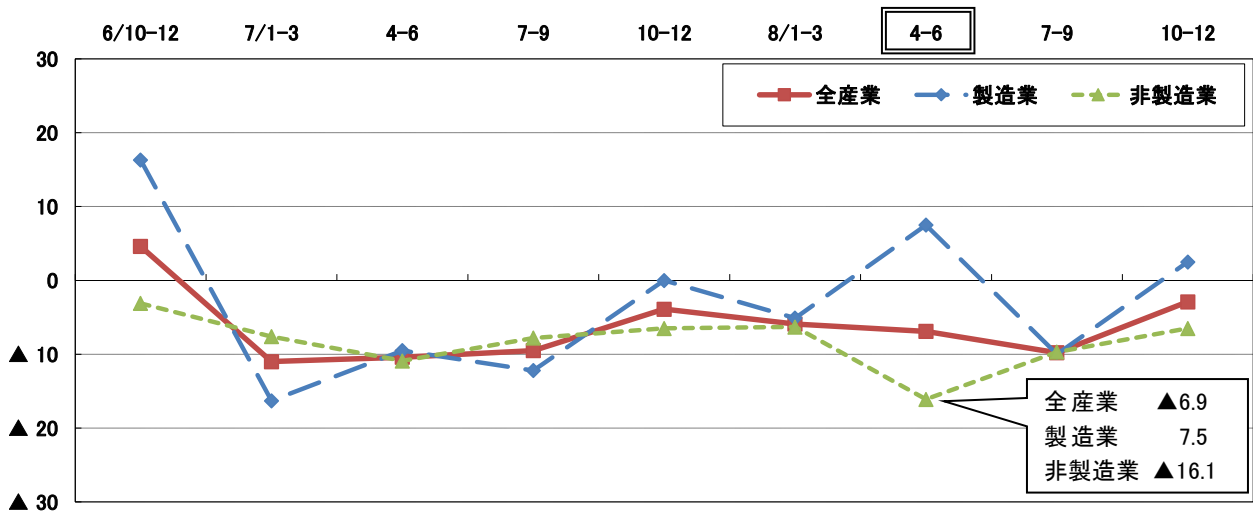
現状判断 ← | | → 見通し



(注) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、構成比の差を表す%ポイント表記した計数の差と一致しない場合がある。

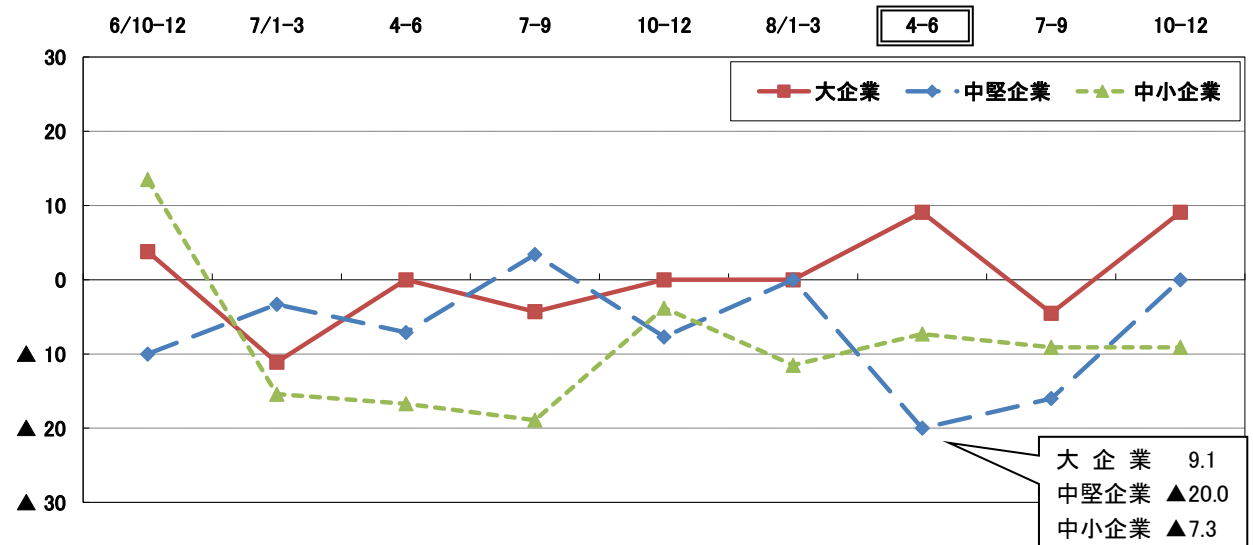
【業種別】

現状判断 ← | | → 見通し



【規模別】

現状判断 ← | | → 見通し



2. 企業収益

(1) 売上高（回答企業数 75 社：電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く）

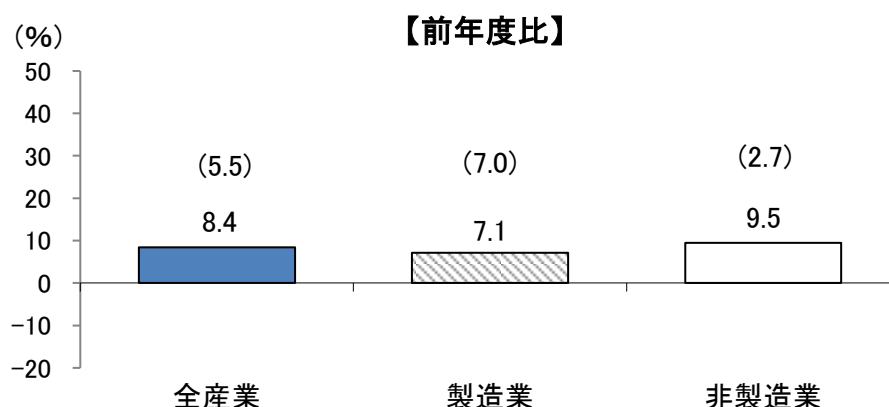
令和 8 年度は、前年度比 8.4%の増収見込みとなっている。

【製造業】

石油・石炭などで減収となるものの、化学、生産用機械などで増収となることから、全体としては 7.1%の増収見込みとなっている。

【非製造業】

運輸・郵便などで減収となるものの、小売、鉱業・採石等などで増収となることから、全体としては 9.5%の増収見込みとなっている。



※()書きは前回(8年1~3期)調査結果

(2) 経常利益（回答企業数 74 社：電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く）

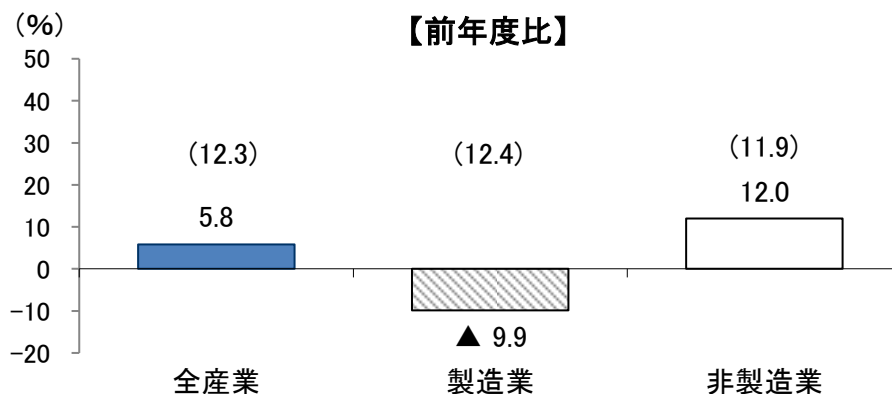
令和 8 年度は、前年度比 5.8%の増益見込みとなっている。

【製造業】

生産用機械などで増益となるものの、化学、食料品などで減益となることから、全体としては ▲9.9%の減益見込みとなっている。

【非製造業】

生活関連サービスなどで減益となるものの、小売、情報通信などで増益となることから、全体としては 12.0%の増益見込みとなっている。



※()書きは前回(8年1~3期)調査結果

3. 設備投資（回答企業数 81 社：土地購入額を除く、ソフトウェア投資額を含む）

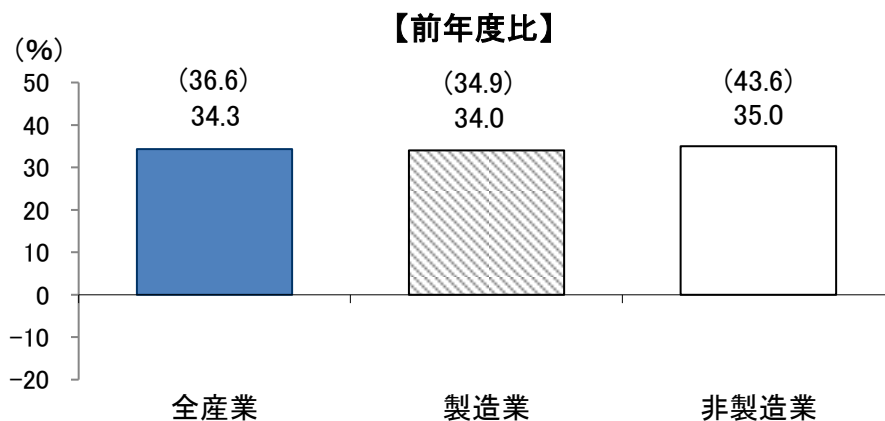
令和 8 年度は、前年度比 34.3%の増加見込みとなっている。

【製造業】

その他の輸送用機械などで減少するものの、化学、鉄鋼などで増加することから、全体としては 34.0%の増加見込みとなっている。

【非製造業】

鉱業・採石などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体としては 35.0%の増加見込みとなっている。



※()書きは前回(8年1~3期)調査結果

4.雇用

○ 現状判断

- ・ 現状(令和8年6月末)の従業員数判断BSI(回答企業数100社)は28.0%ポイントと「不足気味」超となっており、前期(令和8年3月末)に比べ、「不足気味」超幅が拡大している。
- ・ 業種別にみると、製造業は17.5%ポイント、非製造業は35.0%ポイントといずれも「不足気味」超幅が拡大している。

○ 先行き見通し

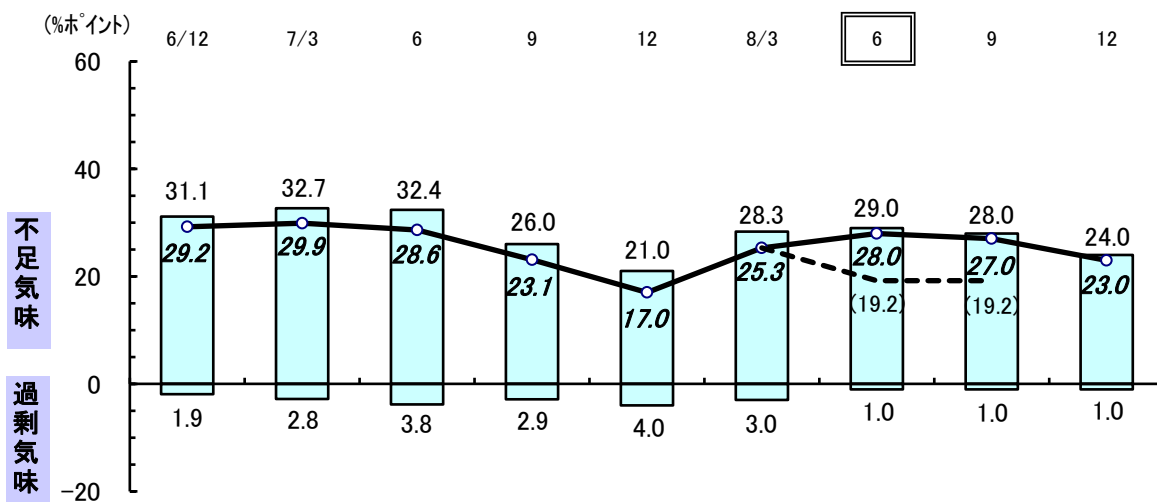
- ・ 翌期、翌々期は、ともに「不足気味」超の見通しとなっている。

従業員数判断BSIの推移(臨時・パート含む)(原数値)

(BSI：期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)
点線及び()は前回[令和8年1月から3月期]調査時予測

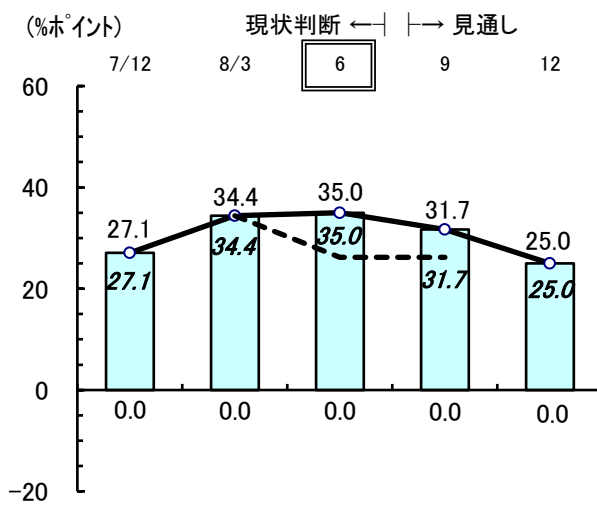
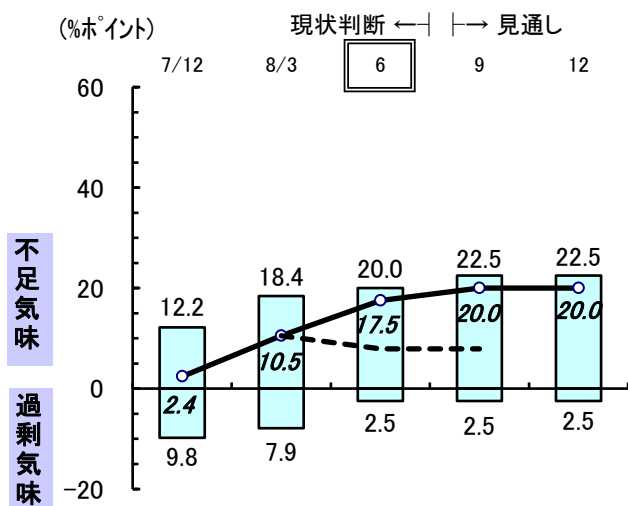
・ 全産業(期末判断)

現状判断 ← | | → 見通し



・ 製造業(期末判断)

・ 非製造業(期末判断)

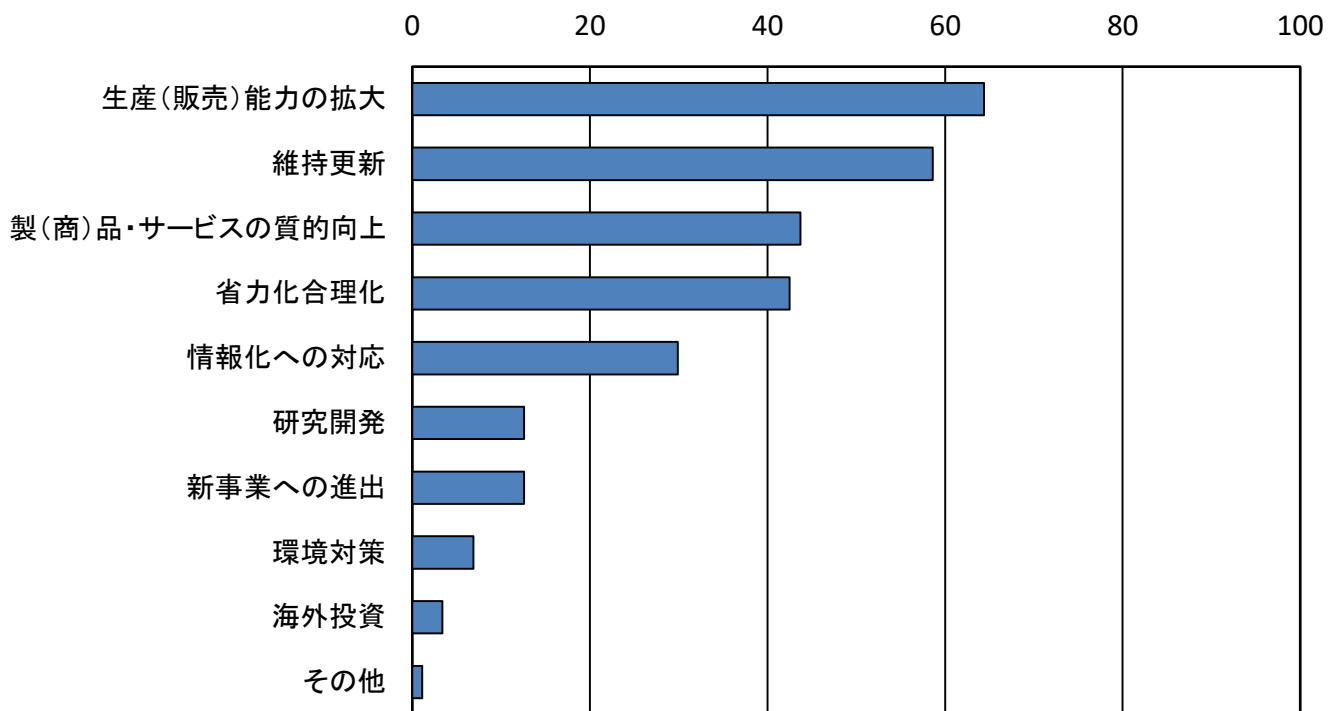


(注) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、構成比の差を表す%ポイントは表記した計数の差と一致しない場合がある。

〔参考資料〕

1. 今年度における設備投資のスタンス

※10 項目中3 項目以内の複数回答による回答社数の構成比(%)



2. 今年度における資金調達方法

※10 項目中3 項目以内の複数回答による回答社数の構成比(%)

